
気が強い清楚な人妻令嬢が
寝取られるまでの一部始終Ⅱ


ガヤ
ガヤ
カラオケ
ガヤ
あ！
いたいた
ごめん
待った？
彼女は僕の許嫁の妻冬香
昔から気が強く芯を持った
清楚なところに引かれ
僕は長い間恋焦がれていた
あ…
フフッ
遅い
ですよっ
長い間すれ違っていたこともあったが
今はお互い想い合うことができた
変わらず強気な姿勢も愛おしい
最愛の妻だ


あれから数カ月
家のしきたりを
終えた僕らは穏やかな
生活を過ごしていた
今日は暇を頂いて
彼女と初めての
デートをすることに
なった
って家が一緒なんだから
一緒に出かければ
よかったのに
どうして
外で待ち合わせ…
せっかく初めての
デートなんですから
雰囲気が大事なんです
そういうもの
なのかな…
そういうもの
なんです
ほら早く行きましょう
せっかくお暇を頂いたのですから
パシャ
パシャ


どうかしました？
いや昔のことを思い出して
？


ガタ
ガタ
許嫁とはいえ彼女みたいな気品のある人が僕の妻になるなんて今でも信じられないな…
でも少し意外だなこういうことはあまり興味がないと思っていた


私だって子供の頃は
普通の恋愛に憧れて
マンガを読みふけって
いたこともありましたよ
そうなんだ
でも
今日は普通の
女の子みたいな
素の自分でデートを
楽しめた気がします
あなたとだったから…
あなたが婚約者で
本当によかった
ああ…
好きだ
大好きだ…
いつだって
彼女は可憐で
父上との
過酷なしきたりを
乗り越えてなお…
美しいままに
僕のことを
想ってくれている


それならもう過去のことは
忘れてこれからの彼女との
時間を大切にしよう
僕たちの本当の
夫婦生活をこれから
始めていこう…
パシャ
今日は
とても素敵な
時間を
過ごせました
お礼に今晩は
たくさん
ご奉仕
いたしますね
ぎゅっ♥
ごくごく


僕の妻は
とても
性欲が強い
それが父上の開発の元
目覚めてしまった
ものなのは
複雑な気持ちだが
でもそんなことも
忘れさせてくれるほど
包み込んでくれて
ここ…
どうですか
凄く気持ち
いいよ
ヌチ」
ヌチ」
ヌチ」


やばっ
もう
イきそう…
いつでも
好きな時に
イってください
凄く尽くしてくれるのだが
これじゃ初めの頃とは逆だな
ガク
ガク
はぁっ
ぷしゅっ


ごめん今日もまた
一瞬でイっちゃって
気持ちよすぎた
うれし…
私は
いいんです
はぁっ
はぁっ
今日もまたイけなかった
もやもやが治まらない…
子供ができれば
こんな邪念もなくなるはず
それまでは悠真さんに
尽くさないと…

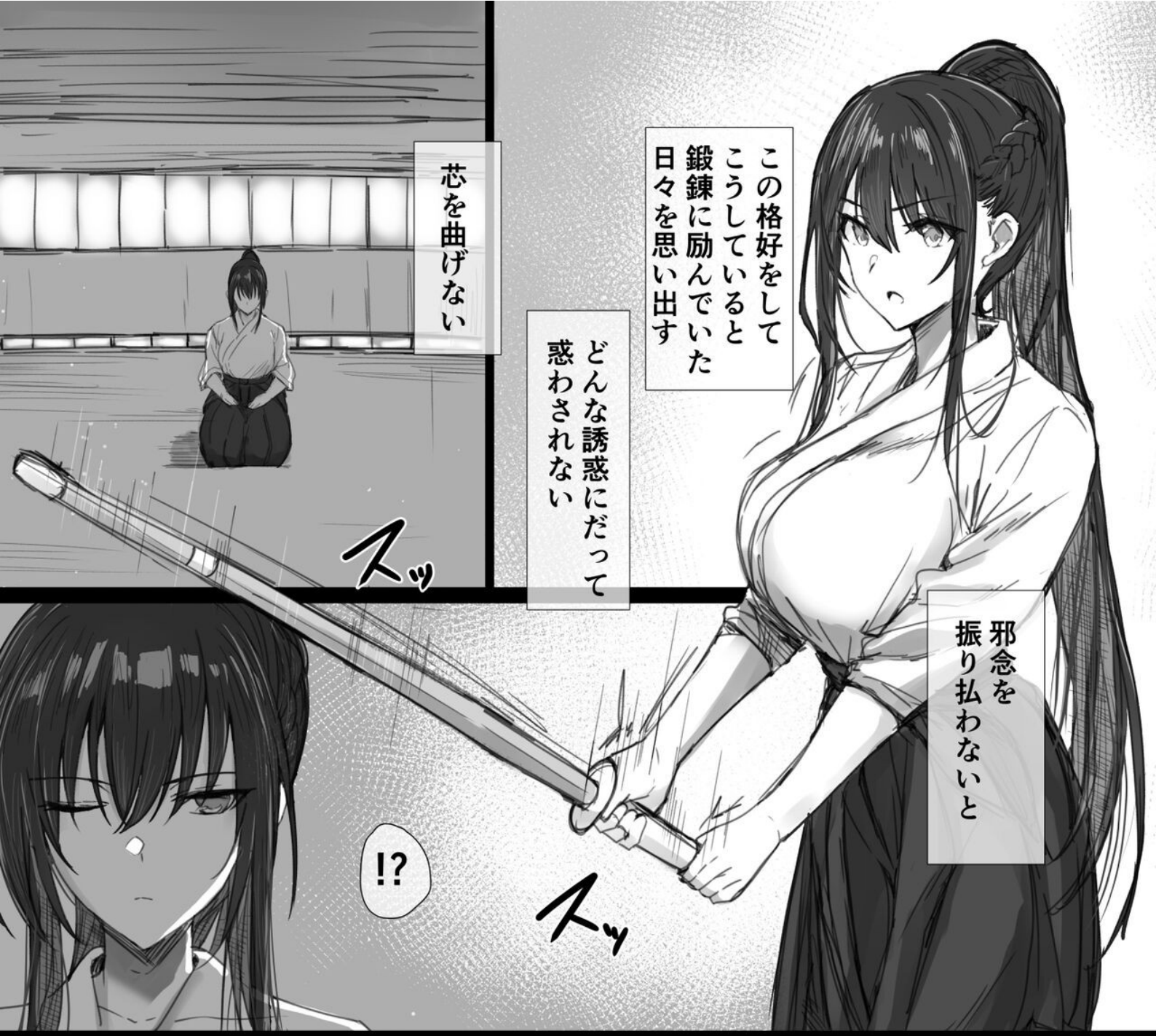

また冬香を満足させて
あげることができなかった
父上のしきたりの時と比べて
不甲斐なさを感じる
こんなに気持ちいいのに
満たされてないのは
僕の方もなのか…？


今日は海外留学から帰ってきた兄さんと会う約束がある
夕方までには帰って来ると思うから
兄さんのこと今度改めて紹介しないとね
はい
じゃあ行ってくるよ
あっ悠真さん
ちゅっ
お…
んん？
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ!?


はふ
ちゅっ
れう…
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ


ガラガラ
じゃ…
じゃあ
いってきます…
…
…
また
やってしまった
クタッ…


最近溜まってるのかな…
たまにスイッチが
入ってしまうと
止まらなくなってしまう
しっかりしないと
タッ
タッ
スッ
ガラ
ガラ


この格好をして
こうしていると
鍛錬に励んでいた
日々を思い出す
どんな誘惑にだって
惑わされない
芯を曲げない
邪念を
振り払わないと
スッ
スッ
!?


イギリス育ちの
ご令嬢だよ
見惚れるん
じゃないぞ
ははっ


しかし悠真に先を
越されるとはな
でもこっちも
自慢の嫁ができるからさ
また次の機会に紹介するよ
そうなんだ
おめでとう


そうなると
父上とはもう…
どうした？
いや…
なんでも…
なんだよ
少し話し込んで
しまったな
兄さんが結婚する
ってことは
僕らもあの家から
出ることになるのかな
どうなるんだろう…
なんだ？
父上から
ピロン♪




ドクンッ
なんだこれは
なぜこんなものを今
なぜ昔の格好をして…
一体いつ撮られたものだ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
脳裏で様々な妄想が駆け巡る
突然送られてきた画像の
情報量に脳が処理できない
待て　落ち着くんだ
まずは妻に会って
確かめないと
運転手さん
できるだけ
早くお願いします


数時間前
ザラ
ザラ
ここにいたのか
お義父様
ここはいい場所だろう
わしも若い頃はここで鍛錬に励んだものだ
お義父様も剣道を…
それであの時あんなに…
どうした？
いえ…なんでもないです
ふむそうだな
今日はそんな話をしに来たわけではない
？
ピクッ
ふんっ
ハイ～ン
お義父様!?


あれから悠真とはうまくやっているのか？
溜まっているんじゃないかと思ってな
あの…お義父様
もじ
こういったことはやめていただけませんか
どうした随分と冷たいな
もじ
もう夜伽のしきたりは終わったはずです私も悠真さんに満足できるよう尽くさせていただいてます
しきたりか…そもそも何故このようなことが代々行なわれているか分かるか？
より快楽を高め合った際に生まれる遺伝子同士が合わさればより優秀な子孫が生まれるそういった考えがあるんだよ
もにゅ
ん…
ムリ
ムリ
雌は開発され雄は自らの力が試される
誰の子種を選ぶかは雌に掛かっている
ぴゅっ
!?


そんな…
愛があれば
素敵な子に
恵まれますよ
なるほど愛か…
それも大事なことだ
どちらもあれば
よりよかろう
その愛というものが
あるならわしなんぞの
手でイくこともなかろう
と…
当然です
ドキッ
では見せて
もらおう
少し覇気が無くなった
気がするが気のせいかの
もじ
・・ッ
気の
せいです…
ムクン
相変わらず
芯を持った気丈さ
今後の鷹原家を
支える者として
素晴らしいことだ
すり
だがそう
溜まっていては
仕方なかろう
もじ
ほれほれ
乳首が勃起
してきた
おん?
パクン
ハッ
…っ
どうした
感じているん
じゃないか?
感じて…
ないです…
ナカ
クリ
じわ〜
そうかのう?


相変わらずモチモチで柔らかい乳だ
そして敏感に開発した乳首
ここを重点的に
クリ
クリ
クリ
トッ
トッ
トン
トン
トン
トン
フー
フー
グッ
ほれここがいいだろう
こんなのっ
じわぁ
我慢っ…我慢しないとっ
しきたりは終わったはずなのに結局は私を好き勝手に犯したかっただけじゃない今回こそは耐えてみせるっ…
だめ…気持ちいいっ声もれちゃう…
はっ
はぁっ
はーッッ
ヌチュ
ヌチュ
くるぅ久々の感覚が
だ…め…
ほれっそのままイけっ

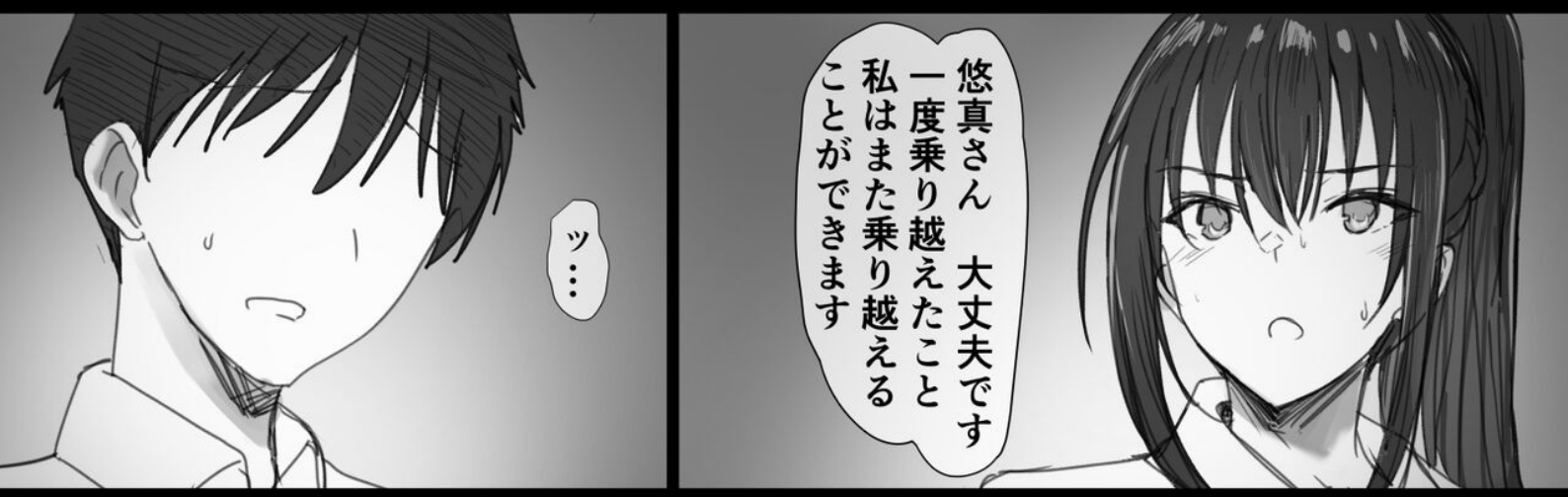

ああああッ!!
イクっ…
ぎゅうう〜〜
ビクン
ビクン
ビクン


ポタ
ポタ
ガク
ガク
面白いぐらい
ビクビク
反応するのう
悔しいっ
お義父様の手
気持ちよくて
すぐに
イッってしまう
ビクン
ビクン
ビクン
ガク
ガク
ガク
あまりの
気持ちよさに
腰がガクガク
踊っている
ようだ
きゅん
きゅん
ガク
ガク
ガク
ポタ
ポタ
しばらく二人の
様子を見ていたが
成果が見えそうにない
ガク
ガク
ガク
これから鷹原家を
牽引するものとして
本来ならば自らの成長を
もってして
成果を出すべきだ
とも思っていたが
やはり変化が
必要なのかも
しれんな
ならば助力する
こととしよう
フー
フー
ガク
ガク


父上…
これはいったい…
遅かったな悠真
もうすっかり
日が暮れている
もじ
だめじゃないか
彼女の欲求不満を
これほど募らせては
ハァ…
なっ!?
ハァ…
もじ
ジワ〜
しかし困った
わしの竿なら
満足させて
やることもできるが
欲求不満を解消する為に
決してわしとの
相手はしたくないと
当然です…
わしも無理矢理は
好きではない
くちゅ
芯が強いことも
大事であろうが…
それでは身が
持たないだろう
すっ…
ほれ見なさい
ちょっといじっただけで
3回もイってしまった
すぐん
ツ…
すっかり
とろとろ
まんこだ
ただそもそもの
知識がない
二人だけに成長を
求めるのも
酷だったのかもしれん
ドッ
っ…
ドッ


そこでわしと冬香さんの行為の動画を撮って悠真に送ることにしよう
少しは足しになるだろう
悠真にはそれ相応の成果をだしてもらわなければ
優秀な子を残すこともできない
悠真さんにこんな姿をまた…
そ…そんなこと…
彼女を満足させてあげるだけの資料が必要だ
早速今から撮影に入ろうか
その前に
ほらイけっ
4回目だ
イクッ


しかし淡々とするのも面白みがない
もうすでに4回イっているもし10回イったらわしの竿で仕上げといこうか
なっ!?
もし耐えれたらわしから手を出すこともやめよう
タイムリミットは21時まで明日はわしも用事があるからな
そこまでわしとのセックスを拒むのだそう易々とイくこともないだろう
冬香…
ﾋﾞｸﾝ…


悠真さん　大丈夫です一度乗り越えたこと私はまた乗り越えることができます
ッ…


あれから平穏な日が続きすぎて忘れていたあの最後の夜父上はなんて言っていた
僕が彼女を満たしてあげれなければ終わらないんだまた始まるのか…


本当に大丈夫かのう
既に4回イっている
10回なんぞ一瞬だ
悠真さんを裏切る
わけにはいきません
これがしきたりの
続きということなら
仕方ありません
受けて立ちますっ
そう強張らなくてよい
もう一度思い出させて
あげるだけだ
一箇所ずつ開発した部分を
わしがメスの身体に
変えていった事をのう
これまで通り
優しく気持ちよく
してあげよう
どこまで
耐えられるものか
見せてもらおうか
今回こそは
耐えてみせるっ…
敏感に
なってる中
クリを
かき回して…
これだと
またすぐ…


イク時は盛大に潮吹きをするからな分かりやすい奴だ
ふふ…
お義父様の舌技巧みすぎる…
はーッ
はぁーっ
少しも気を緩めることができない
ッ…
ガク
ガク
ピクン
ピクン
ピクン


今日はこれをメインでいこうと考えている
悠真に技術がなくても道具があれば多少は補えよう
武器を使うなんて卑怯なこと
こんな振動で攻め続けられたら絶対気持ちよくなっちゃうやつ
ハマーッ
ハマーン
振動が…快感が直に
クリトリスに響き続けて
こんな快楽をひたすら耐えないといけないなんて
はっ
あっ
はぁ


悠真ときたらこれほど感じやすい身体をまともに楽しめないとは勿体ないやつだ
悠真さんは私のことを大事にしてくれてるんです
目の前にこんなにエロい身体があって満足にセックスができないのならそれこそ無礼であろう
わしならいくらでも満足がいくセックスをしてあげるというのに
少し膣内をいじるだけでマン汁が溢れてくる
これで抵抗しているつもりかね？
この辺を重点的に
冬香さん凄くえっちに何度も悶えてくれるから張り切ってしまうわい
身を任せて気持ち良くなることだけに集中してればよい
だめっ…」力が抜けるっ…
こんなの…」
こんなの…」


ほらほらまた膣のビクつきが激しくなってきてこれは絶頂が近づいてきてるんじゃないか
ダメ
あっ
イイイ～～～ッ
ビクッ
おおっ息が荒くなってきた
イ…いきたく…な…い…
勝手に快感を求めちゃう
ビクッ
そんなに我慢して強情なようだ
はぁ…
むろっ
はっ
ふるんっ
乳首もぷっくり浮いてきている
たまらんっ
ちゅっ
乳首も同時に攻められて…こんな感覚刺激が強すぎるぅ
ぴくん
ちゅっ
ああっだめっぇ
んちゅっ


こっちの感度もすごいのう
乳輪くすぐられるのそんなに気持ちいいのか
チュン
ほれイけっ
イけっ
ダメ!!
チュン
ダメダメ!!
またイク!!!
んちゅ〜〜
ビクン
ビクン
乳首吸われてイクっ
おお!?
ぎゅっ
ビクン
ビクン
6回目!
プシ
ア
ヤ


ずっと絶頂してるみたいに気持ちいいのが続いている
またイって
我慢すればするほど押し寄せる絶頂もさらに増すだろう
こんな…
ダメっ 快感から逃げられないっ
優しい愛撫が続いていてまるで全身が性感帯みたいになってきた
何回もイかされてるのに中途半端に刺激されて子宮の奥底の疼きが止まらない
イくの止まらない


……ッッ!?
今お義父様の舌入れられたら
んんんん…っ
んちゅうううっ
ぶちゅうううっ


ビクビク
ちゅっ
ちゅっ
おほっ
キスイキしてしまうとはもう拒む必要もないだろう
ガッ
シャアアアアン
ガク
ガク
ガク
すっかり淫乱メスの身体になって
こんな人の…唇を犯されてイクなんて
受け入れてきちゃってる身体が許し始めてる


もっとよく舌を絡めて…
気持ちいいっ
はぁっ
れろ
じゅるるっ
お義父様とのキス頭が溶ける止められないっ
そうじゃその調子で
はぁっ
れろ
れろ


こんな辱め
許されない…
我慢すれば…
この行為が終われば
お義父様との行為も最後に
悔しいことに
負けた時のことを考えると
絶頂がこみ上げてきそうに
なるのを必死に耐えてる
もう限界が近づいている
気づけば
この勝負に負けた
時のことばかりで
頭がいっぱいに
なっている
はっ
はっ
お…
お義父様
少し休憩を…
だめじゃ
真剣勝負
だろう?
っ…


8…
ピロン♪
グッ


僕がこの数ヶ月
いくら頑張ろうと
イかせることが
できなかった妻が
何度もイかせられている
あの冬香が…
7…
ピロン♪


どうだ降参するか？
私は折れません…
あ…うぁ…
ならもう一段階振動を上げよう
これ以上まだ!?
……ああ
だめ…だ…め
こんな強いの
おおっ!? 今日一の潮吹きじゃ
あと2回…？たえ…？耐えなきゃ？
おーおーさっきより息が荒くなって必死じゃな
何か…気を紛らわせないとおかしくなる
もう…これ以上凄いの…
足ガクガクしっぱなしじゃないか


ちんぽほしい♡
ちんぽほしい♡
ビン
これを挿れたら
すぐに楽になれるぞ
疼いているおまんこを
埋めてやることができる
ビン
悠真では
埋めれない
奥底まで♡
わしも危うく
暴発しそうなほど
ギンギンに
なってしまっているよ♥
ハァ…ハァ…
ビクッ
ビクッ
ぴく
ぴく
ぐ
ぐ
覚えている
忘れるはずもない
私を狂わせてしまう
おちんぽ…♥
イク♡
イク♡
少し味見でも
してみるか？
深くを
突いてやろう♡
ぐぐ


チンポしゃぶるとよりメスの匂いが強くなったぞ♪
喉奥突くたびに膣がキュンキュン疼いている♪
このまんこはわしのチンポを欲しがって疼きが止まらないではないか♪
タイムリミットまであとどれくらい…もう持たない…
散々辱めを受けてちんぽで脳が溶かされて狂ってしまうっ♪
私の思考がまだ回っている内に
今ならお義父様のちんぽを攻められる♪
勃たなくなるほど絞りとれば…♪


このまま終わらしてみせる…
くっぽ～
乗ってきたようだもっと舌を絡めなさい
お義父様のちんぽに負けるわけには…っ♥
くっぽ
苦しいのに頭掻き回されてこんな辱め…
なのに…身体はどんどん熱くなっていく…
んぐっ
ちゅぽ
ビクビク
おっほ～♥気持ちいいのう♪
だ…大丈夫…♪まだ大丈夫……♪
あ…れ……？なに考えてたっけ？そうだチンポ汁飲まないと…飲みたい…飲みたい…♪
ちゅぽ
ちゅぽ
おおおっ♪イクっ♪
このちんぽで突かれたい…♥私を満たして愛してくれた性器♥
チロ♪
ちんぽ…おいしい…♥
ちんぽ…だいしゅきぃ♥
チロ♪
くっぽ♪


あーん
出るっ
プシャーへ
ヒュワッ
ふっ…！
ふぅっツ…！！
ヒュワッ
ビュワ
きもち～
おほっ
口まんこに
搾り取られる
ドクドク
本気の
吸い込み
んぁ
じゅぞぞぞ
若妻口まんこに
射精気持ちいいのう


あーっ
気持ちよかったわい♪
すっごい出た♥
ギンッ
ビュッ
9回目♪
ギンッ
不覚にも
射精してしまったが
冬香さんのちんぽ顔が
エロ過ぎてますます
ガチガチだ♪
なっ!?
ハッ…


だが残念なことに
時間切れみたいだ
さすがの忍耐強さ
よくぞ耐え抜いた


しかし
大丈夫かね
何がですか
こんな状態になって
悠真とのセックスで
発散できるのか


ハッ…
!?
そうでした…
気付いてしまった
もうこうなってしまったら…
今やめられるなんてもう…
ハッ…
どうする?


くそっ早く終わってくれ
中はどうなってるんだ
気になって仕方がない
ウロ
ウロ
父上の手によって絶頂する
妻のイキ顔がフラッシュバックする
僕の中で忘れかけていた邪心が
またふつふつと湧き上がる
あぁ
あぁ
あぁ
きたっ!!
21:00
ゾワッ
ドッ
ドッ
…っ
ごくっ
!?


もう分かりましたから…
ちゅっ
最後はお義父様のちんぽでイきたいです…
お義父様のちんぽ挿れてください
ちゅっ
へぇ
へぇ
ちゅっ
ちゅっ〜
よく言えたやっと素直になったか…
心配するな避妊はしよう
あぁっ
はいってくるぅっ
ぬぷぷぷぷぷ〜
!?
っあ〜すごいのうっ
何度味わってもたまらんっまん肉広がって吸い込んでいく感覚
あっあああああっ


あっ…
ああっ…
こんな…
溜まった中に
快感を注入されて…
イっ…
くぅうぅっ
おかしくなる…
挿っただけで…
こんなぁ…
おお～～～
根本まで
全部挿ったぁ
みちぃ


はぁあ〜
挿れただけで絶頂してしまったか
ハァン
パン
だがまだまだこれからっ
ダメっ〜今イって〜
欲求不満発情まんこに〜
あっ〜
ズンッ〜
おおっ〜
久しぶりに極太ちんぽ〜
やはり若妻の雌を味わい尽くす征服感はたまらんな
フゥーッ
パン
ましてやいつもは澄ました顔をしている雌が
わしのちんぽで悶えている姿はまた格別
パン
数ヶ月ぶりのわしのちんぽはどうだ
パン
ほらちゃんと悠真に見せないとこのだらしないメス顔を
パン
!?
ゆ…悠真さん…これは…
っ…
ギン
ギン

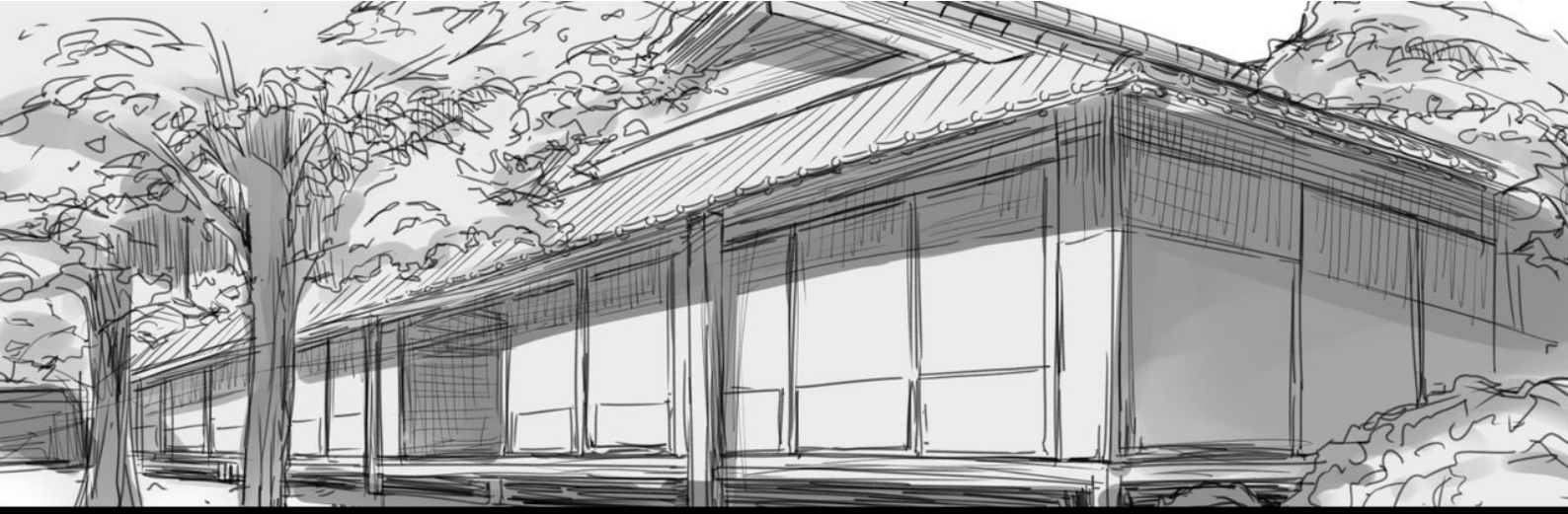

ちょ…！♡
ダメっ…！♡
こんな恥辱っ♡
誘惑に流されて♡
乱れてる姿を
悠真さんに…♡
パンッ
パンッ
あぁ♡
パンッ
パンッ
ゆっ…
雄真さん
違うんですっ
これは
ナニが
違うんだ!?
ハッ
ハッ
はわわ
自分から求めたことだ
痴態を晒すことを
受け入れなさい
わしが開発し
続けた身体
やっとスケベな
本性を現した
久々に聞いた…
気持ちよさそうに
喘いでいる妻の声を
ぼくとのセックスでは
絶対出さない声を…

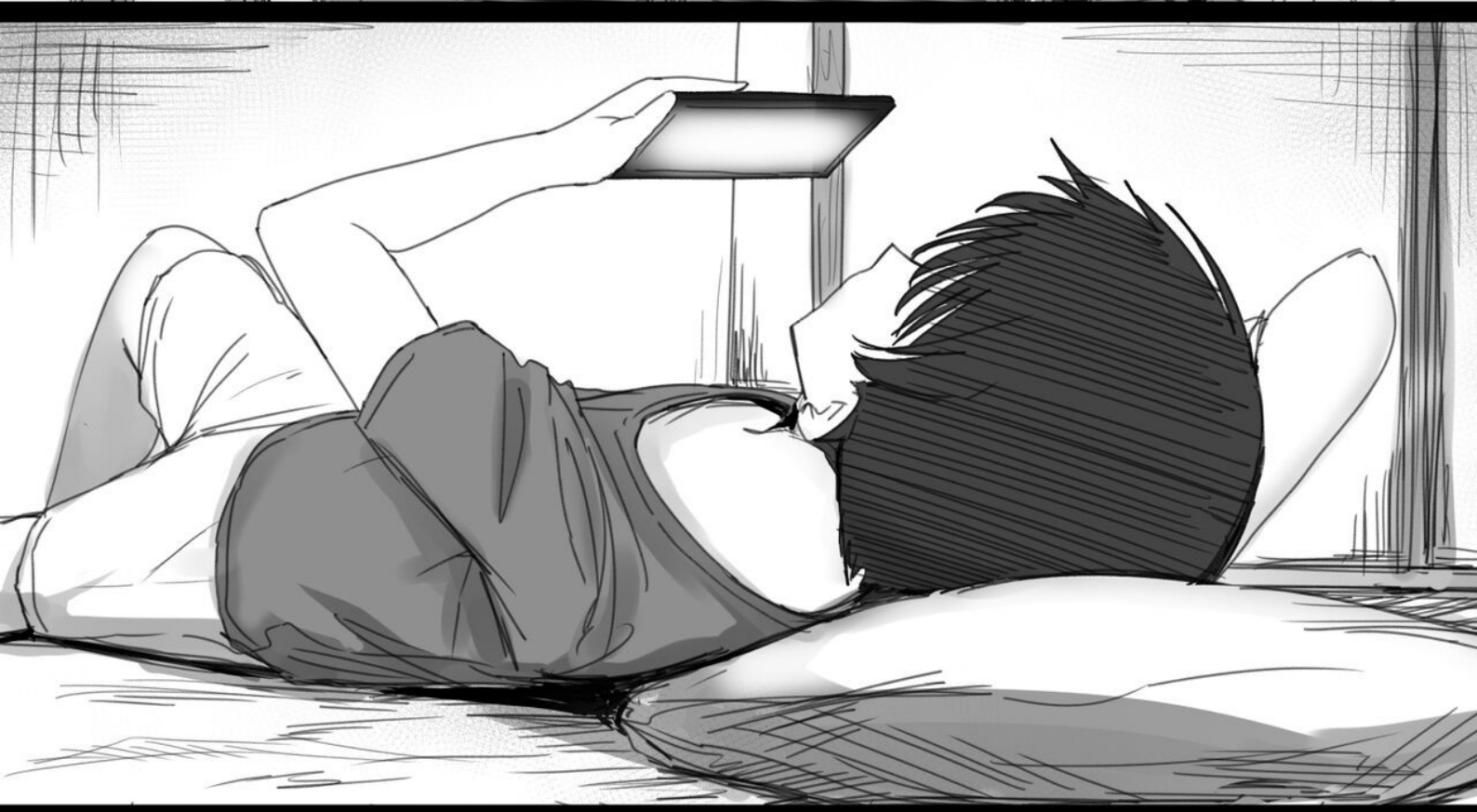

こんな恥辱を受けてなお
身体は快楽を求めている…
子宮がうずいてたまらない…
ゆうまさんっ…
と…
冬香…っ
満たされて
いなかった
違うっ
私は雄真さん
との為にっ…
締まりもさらに
よくなってきている
乱れた姿を晒して
興奮しているんだなん
違っ
そんな…
身体が勝手に…
悔しいっ
感じちゃうっ
まんこ全体が
甘え切っておる
おおおっ
金玉熱く
なってきた
精子
上がってっ
くる～
大きくて
逞しいっ
ちんぽっ


これだけ乱れて悠真に何か言うことはないのか
パンッ
あぁ
っ……ごめんなさいっ私はお義父様のちんぽで簡単にイかされるダメな娘ですっ
パンッ
その通りだっだらしないまんこには仕置きをしないとなっ♥
パンッ
おもいっきり腰をぶつけるといい音がなるっ
パンッ
あ～っ♥登ってきたっ～♥
パンッ
イクっ♥
ぶるん
アアッ♥
まんこ締めろっ
パンッ
イクぞっ濃厚精子出すぞ♥
パンッ
イクっ♥
パンッ


っあぁ～～っ♥
出るっ…!!♥
イッ…♥
ビュッ♥
ビュルルッ♥
ビュー
ビュルルル
くぅぅぅ……っ♥
あぁっ♥
おおおっ♥
出るっ出るっ♥
気持ちいいのぅ～♥
ドクッ♥
ドクッ♥


ふー
でたでた♡
ビュッ
ビュッ
ビュッ
やはり若妻との
セックスは
最高に高揚するのう♡
きゅん♡
きゅん♡
どうだ悠真
これが
本物の交尾だ
ヒクヒク♡
ブビッ♡
ブビッ♡
ズズズ
ガクガク
タプン♡
精子たっぷり
出たわい♡
やはりわしの助力なしでは
優秀な子孫を残すことも
難しかろう
予定通り今後は
わしらの動画を
送ることとしよう
はーっ
はーっ
ごめんなさい
悠真さん
またお義父様の
おちんぽに
屈しちゃいました♡
はーっ
はーっ
はーっ

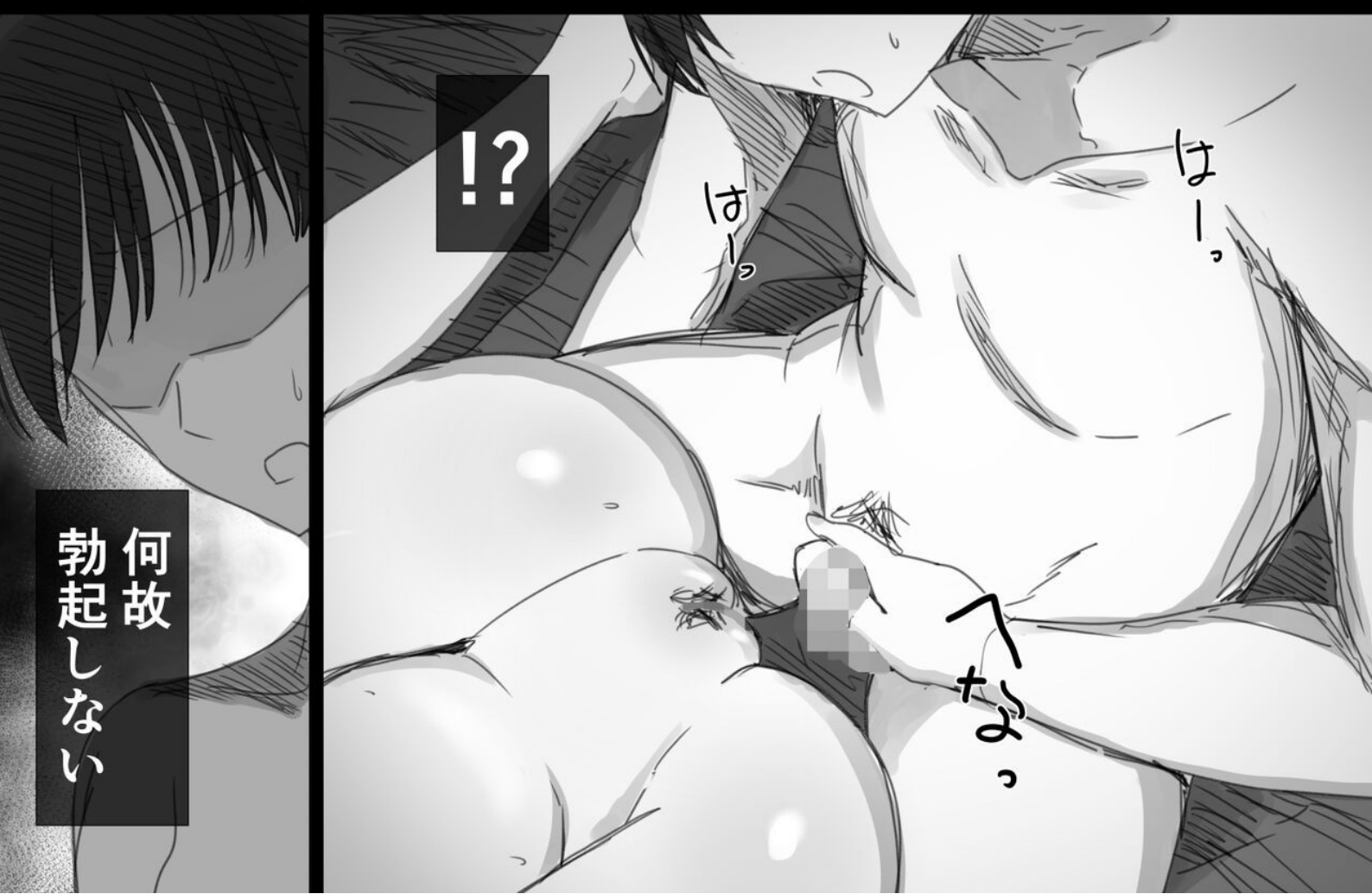





それから定期的に
父上と妻の淫らな映像が
送られてくるようになった


彼女との思い出が
塗り替えられていく
なのになぜ
こんなに…


僕が…
僕がしっかりすれば
彼女を満たしてあげることができれば
こんな日々も終わる
ドッ
ドッ
ドッ


!?
はーっ
はーっ
へなっ
何故勃起しない


あの…
悠真さん…
私に何か
至らないところでも…？
いや…冬香は
とても尽くして
くれてる
送られてくる映像も
冬香…凄く感じてて
こっちまで興奮して…
って何言ってんだ
はは…
悠真さんは
あの映像で
興奮してくれて
いたんですか…
今日は調子が
悪いみたいだ…
もう寝よう
……
分かりました
……
嫌な予感がした…


今日もちんこにくる清楚な服装じゃな♡
あの…お義父様何故今日はこのような場所に
たまには気分転換に場所を変えてみるのもよかろう
HOTEL
P
ムチ♡
ただひたすらに快楽を満たし合うための場所を選んだだけのことだ♡
っ…
さわ♡
さわ♡
ムズ…
ムズ…
…


くぽっ
おほ～ちんぽ顔ギンギンになるのう
くぽっ
しかしどうした今日はいつもより夢中でむしゃぶりついてわしのちんぽがそんなに恋しかったのか
くぽっ
ほう…
ペロッ
ペロッ
わしゃ
あくまでも快楽に身を堕とすのではなく悠真の為に体を張っていると言い張るのだな
ピクン
ちゃっ
ちゃっ
私が感じてるところを悠真さんが喜んでくれるなら頑張ろうって
気付いたんです
ムニュ
ムニュ
ムニュ
？
なるほどこれもまた一興


何事に対しても勤勉に向き合う姿勢は悪くない
いつまで冷静を装っていられるかも見ものだ
それならそう険しい顔をしても仕方なかろう もう少し明るくしたらどうだ
ほれ画面越しの悠真に向けて
こ…こうですか
では見せてやろうかわしらのドスケベセックスを
!?


しばらくしない間に
乳首もクリトリスも
随分大きくなったものだ
悠真では満足できず
わしが相手をしない間は
オナニー漬け
だったんだろう
どうなんだ？
言ってみなさい
…っ
一日2回ぐらい…
多い時は？
…5回
まるで覚えたての
中学生みたいだ
…
ニュポ
ニュポ
ぴっ
おお～
すばらしい
乳圧～
ぎゅむっ♥
ちんぽが
もってかれそうだ♥
ぴく
指導を初めた頃は
あれほど無知だったと
いうのにのう
しかしそれほどの
性欲を持て余していたら
悠真ではどうすることも
できなかろう
やはりそっちの
才能がある
ジワー
ぴく
ぴく


くそっ…妻が僕以外のちんこを愛おしそうに奉仕している光景から目が離せない
ドスケベパイでちんぽ締めつけたまらんっ♡
むっちむちで良い弾力だ♡
ほれもっとしっかり股を開いて
欲求不満若妻に濃厚精子出すぞっ
あっ
やばっ
んっ
にゅる♡
たぷん♡
たぷん♡
ぴゅくっ♡
ひゅくっ♡
あ～っ♡濃いの射精るっ…♡
わっ♡
かわいい顔がザーメンまみれだ
増々興奮させおって♡
しっかりこぼさず飲むんじゃぞ♡


お義父様…
なぜさっきからこんな
恥ずかしいポーズを
くっ…
こんな辱め…
た…確かにとても
恥ずかしいですけど
いけない気持ちが
増していきます
はぁ
脇臭いじゃ
だめっ
実に扇情的じゃぞ
このほうが快感が
増すものだ
汗ばんだ脇から発情した
臭いがぷんぷんするのう
ほれ
脇舐めどうじゃ
き…
気持ちいいです
本気汁
溢れてきて
いるぞっ
そのまま
イけっ
あぁ…あぁ!!


ほれっ
イク時は報告
イクッ
イー
ビクーン
おぁっ！
出るっっ！
ビクン…
イきます
ビュッ…
ビュルルッ
悠真がろくに
満足させることが
できなかった
欲求の塊が溢れ出ておる
絞られるっ～
まんこ
締め付けすぎだ
危うくゴムを突き破る
勢いで射精してしまった
ではないか
しゅ…
すみませんっ
悠真聞いてるか
彼女のまんこ
めちゃくちゃ
気持ちいいぞ
あっ～
べろちゅーしながらの
射精気持ちいいわい
ビュッ
ビュク
ビクン
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
クリ
クリ
ガシッ
勃起が止まらない
ハァ
ハァ
ビーン
まずいまずい
だめだろこれは
こんなこと…
彼女に求めてた
はずじゃないのに


画面越しで僕に見せつけるように濃厚なセックスが続く
これが僕が妻に求めていたものなのか？認めたくない…認めたくないけど自分のちんこをしごく手を止められないっ！
アアッッッ
これほどのドスケベボディを持て余して悠真はシコっているだけでいいのか？情けない奴だ
悠真さんのこと悪く言わないでくださいっ私がえっちなのが悪いんですっ
悠真に見せられない下品なイキ顔見せろっ
トロトロに熟した冬香さんのメス穴最高だわい
パン
パン
はーっ
はーっ
あ…ああ
やぁ
ぎゃうぅ
びゅく
びゅく
おおおッイクッ!!
おまんこイクっ
ズポ
ズポ
ちんぽが出たり入ってるところがよく見えるっ
おぉっ射精とまらんっ
びくっ
びくっ



その姿は僕に見せるための演技なのか？いや本気で悦んでるようにしか見えない



何故 僕は妻とのセックスの時は勃起しなかったのに妻と父上のセックスをしている姿に興奮してしまうんだ




やはり身体の相性は抜群じゃのう♥
じゃろう？
ッ…♥
おおっ♥まんこひきついた♥そうじゃろうとも♥
あーきたきた♥また精子上がってきた♥
イッ…♥
イッ…ク♥
ビクッ
ビクッ
ふうッ♥ふうううッ…♥
パン
パンッ
パン
たぷっ
出すぞっ♥
ッッッ～～～ッ♥
イクゥ…♥
ビュクッ♥
ビュルルルッ♥
きもちいいのう～♥
ゴムが弾けそうなぐらいぱんぱんに出たわい♥
ビン♥
ビン♥
残念なことにこれでゴム切れだ
続けて生セックスするなら射精の時は外に出そう
まだまだいけるぞ♥
ハァ♥
ハァ♥
まだしたいっ♥挿れてほしい♥
絶対気持ちいい♥生ハメセックス♥
チロ♥
チロ♥


な!?
だめだろ
もしものことが
あったら!?
シコ
シコ
シコ
生ハメセックス
しましゅ♥
ぜっ…
絶対ですよ!
射精の時は
外に出してください
はッ♥
ぷる♥
ぷるん♥
ピクッ♥
ぬぽぽっ♥
きゅん♥
きゅん♥
ぷるん♥
ぷるん♥
雄真に見せて
あげなさい
スケベな姿を
ガク
ずぷぷぷっ♥
ガク
悠真のためと言いながらもはや
自分の欲求を満たすためだけに
やってるようにしか見えんぞ
ガク
そんな
ない…
おおっ♥
久々の生の
感触じゃー♥
飲み込んでいく~♥
ガク
ぶちゃいくな
顔晒して
説得力ないぞ♥
フーッ
フーッ
パン♥
パン♥
そんなに
生ハメ
気持ちいいか!?♥
あ…ッ!!
あッ…!!♥


その姿はもう普段の凛とした妻の面影はなく
快楽に没頭する雌の姿に…
その圧倒的な力量の差を見せられてしまう
スイッチが入ってしまった妻はもう絶対に止まらない
父上に変えられた身体は際限なく快楽を貪るように父上とのセックスに没頭してしまう
本当は冬香はそうされたかったのか…
気持ちよくて腰とめられませぇん♥
ハーッ♥
ハーッ♥
冬香があんなだらしなく腰を振って
こっ…っ腰が砕けそうだ
シコ
シコ
シュ
シコ
シコ
ヌチ♥
ヌチ♥
ヌチュ♥
ヌチ♥
ヌチ♥
パン♥
パン♥
パン♥
ヤバ…♥
イクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
子宮の奥好きじゃろう♥
つうう～～♥
熱烈ピストンとまりません♥


キスしながら
生ちんぽで
ラブラブセックス
たまらんのう♥
これしゅごう
やめられない♥
ゾクッ
れろ♥
れろ♥
ゾクッ
子宮がわしの精子を求めて
本気締め付けしているぞっ♥
おほっ♥
下品な
腰使い♥
ズポ
ヘコ♥
ズポ
きもちいいっ♥
このまま
わしの子を
孕むか？
ダ…ダメ♥
ビクッ
ちゅっ♥
ちろ♥
ちろ♥
ビク♥
妊娠する気で
受け入れてみよ
絶対気持ちいいぞ♥
駄目だと言いながら
浮気チンポの方が
たまらなく
気持ちいいんだろう
ハァッ♥
ハッ♥
ヘコ♥

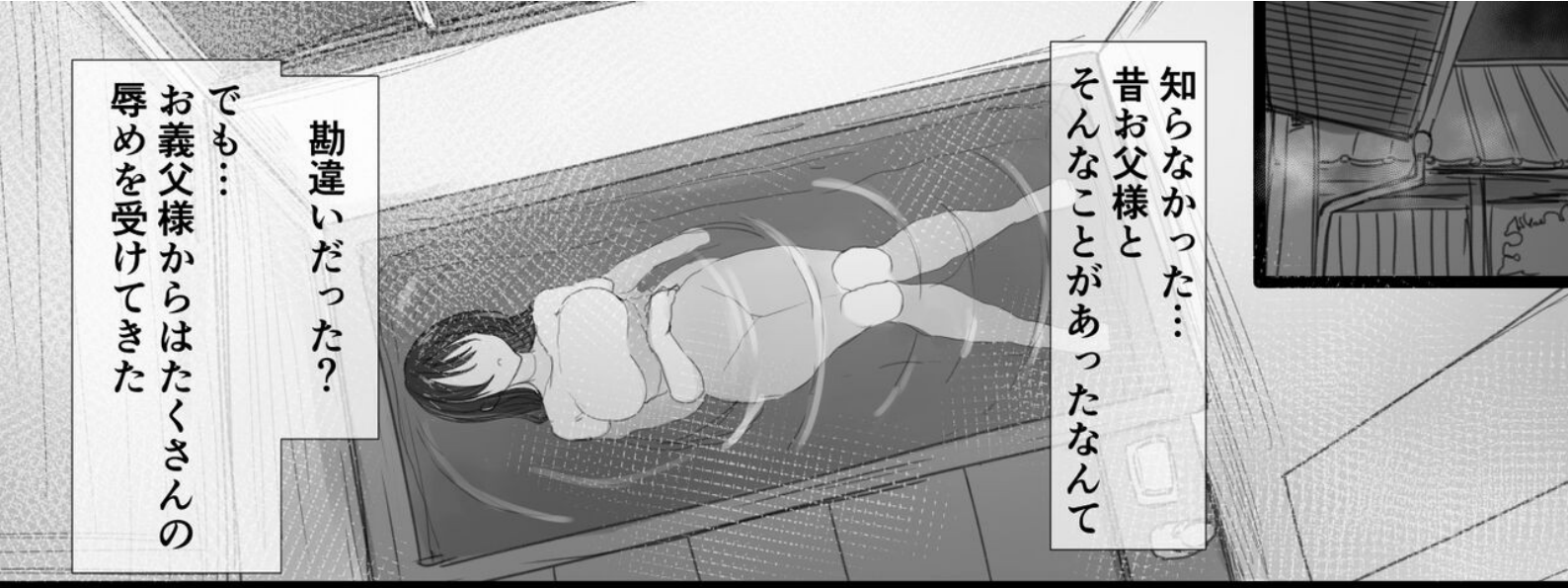

こりゃもう中出ししかないな♥
だめっ♥妊娠しちゃうっ♥
本当は気づいているんだろう
わしとセックスをするための言い訳を探して欲望のままに乱れたいだけだ
ヌチュ
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
!?
わたしは悠真さんのために…
ヌチュ
ぎゅうう」
ヌチュ
だめっ♥中…だめっ♥
ちゅっ♥
ぱんっ
んちゅっ♥
なら悠真に見せつけるように派手にイキ狂いなさい♥
悠真の目に焼き付くようなアクメきめろっ♥
れろっ♥
れろっ♥
ほんとダメですっ…♥
堕ちろ♥
ぱんっ
堕ちろ♥
ぱんっ
堕ちろ♥


堕ちま
せえええんっ
ドビュッ
ビュルッ
あへぇ
ビュルルッ
ビュルル
ドクン
ドクン
あ〜…っ
中出し気持ちいぃ〜
ビュルル
はへ
おおぅ
止まらんっっ
そして父上が
妻のまんこに
精子を注ぐ中
お
こぽっ
づぅ…
ビュ
ビュ
僕は虚しく
精子を虚空に
吐き捨てる


うう…
お義父様の精子
いっぱいで
溢れてきちゃう
中に出さないって
言ったのに…
すまんすまん
つい盛り上がって
しまった
後で
アフターピルを
与えよう
ジワ～
中々愉快であった
たまにはこういった
ものもよいな
悠真さんとのために
思いながら
今日はいつもより
乱れてしまった
自分自身を
見失わないように
悔い改めないと
・・・
ビクッ!!

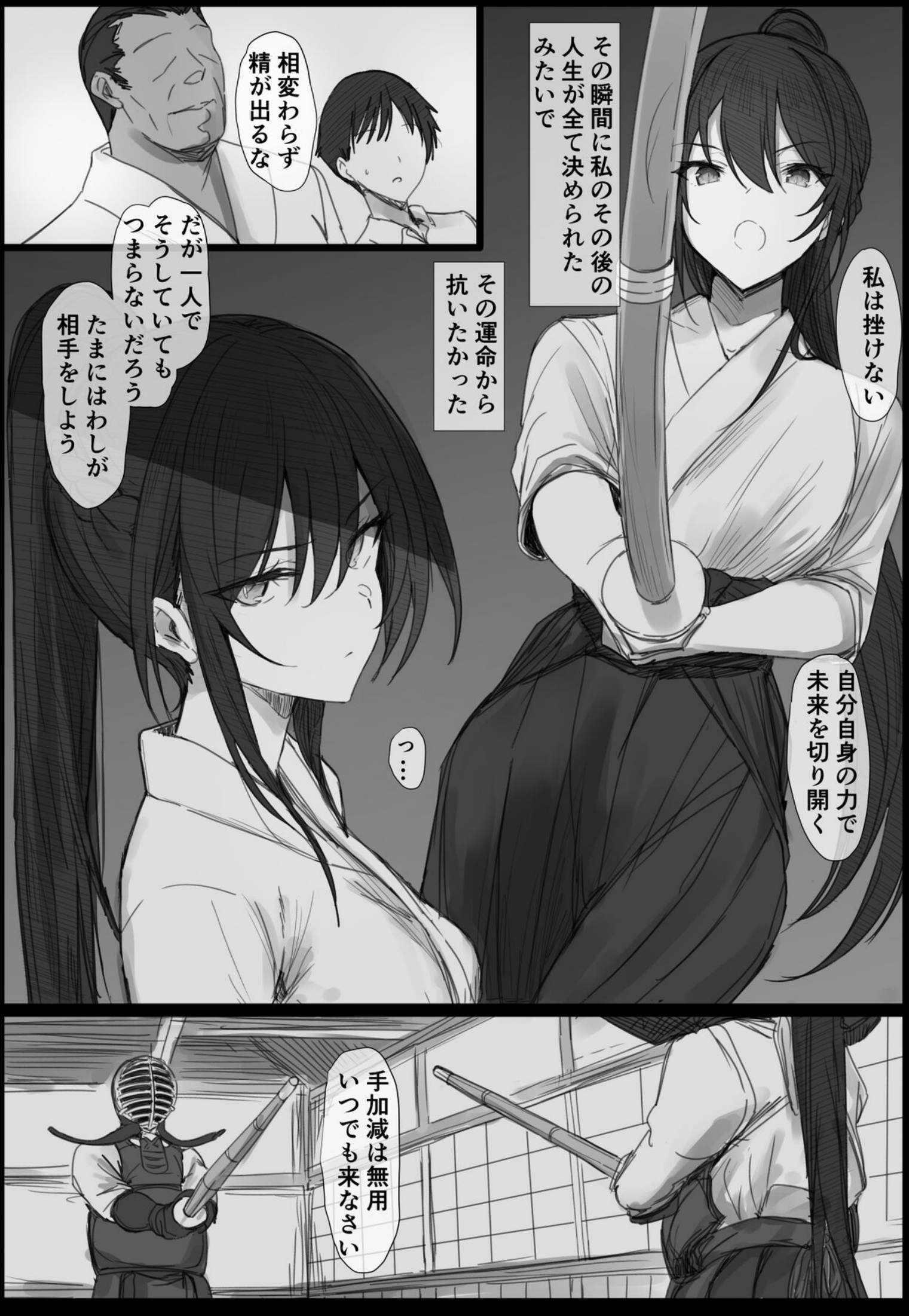

危うく轢かれるところだったぞ
ブワッ
これ!!
なにぼーっとしておる
きゃっ
少しやりすぎたか脚がフラフラだな
注意して歩きなさい
はいすみません…
!?
この感じ…前にもあったような…
ふふ昔のことを思い出すな
昔?
覚えてはいないだろうがまだ冬香さんが小さい頃あの時も同じようなことがあってな
わしと冬香さんの親父とはなんというか…そう昔から腐れ縁みたいな関係だったんだが
やつは冬香さんを溺愛していてな


自分に何かあった時は
娘を頼むと…
まぁ冗談めかして
言われたものだが
本当に早く絶って
しまうとはな…
わしらしくもない
昔のことを語って
しまったわい
…
思い出した
まだ私が
小さかった頃
お父様と一緒にいた
あの人はお義父様
だったんだ
それと近々次男が
結婚することになる
それに伴い
二人にはあの家から
出て行ってもらうことに
なるだろう
詳しくは後日
追って話すことにしよう
えっ
ということは
終わるんだ
お義父様との
行為も…


知らなかった…
昔お父様と
そんなことがあったなんて
勘違いだった？
でも…
お義父様からはたくさんの
辱めを受けてきた

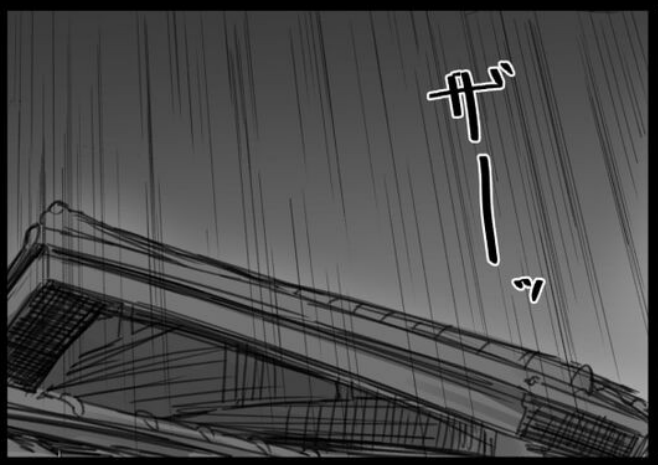

子供の頃
私はお父様のことが
大好きだった
だから亡くなって
しまった時は
とても悲しくて


そしてその代わりに
私の前にやってきた
お義父様が嫌いだった


私は挫けない
自分自身の力で未来を切り開く
その瞬間に私のその後の人生が全て決められたみたいで
その運命から抗いたかった
っ…
相変わらず精が出るな
だが一人でそうしていてもつまらないだろう
たまにはわしが相手をしよう
手加減は無用いつでも来なさい


うるさっ…
ビクン
パァ
うるさいっ
うるさいっ
ガッ
どうした
気が乱れて
いるぞ
大嫌いな人が
大好きなお父様の
はぁ
はぁ
スゥ…
!?
ドウッ
なんでこの人
お父様みたいな
動きをして
やめてっ
真似をしないで
バッ





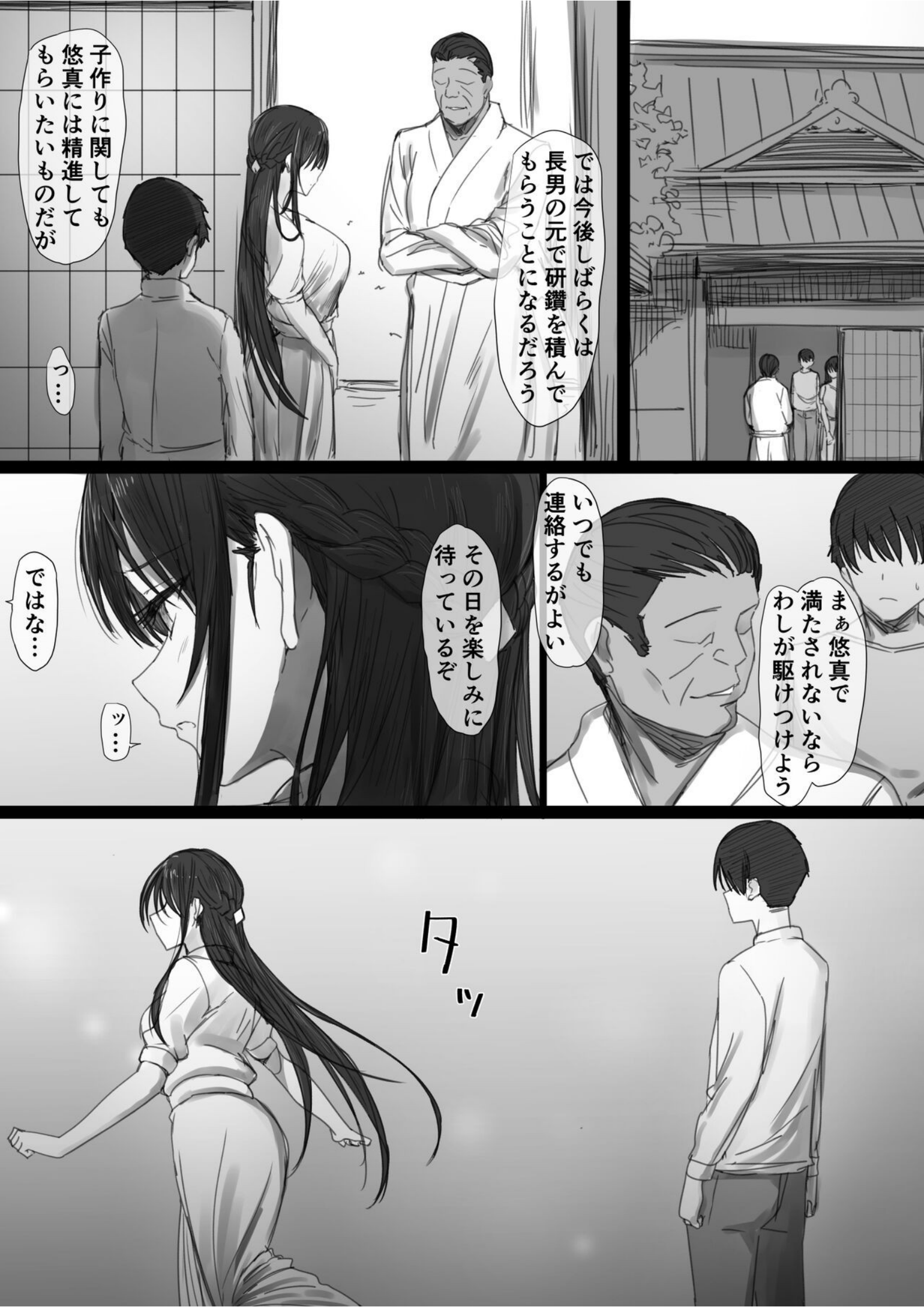


お父様…

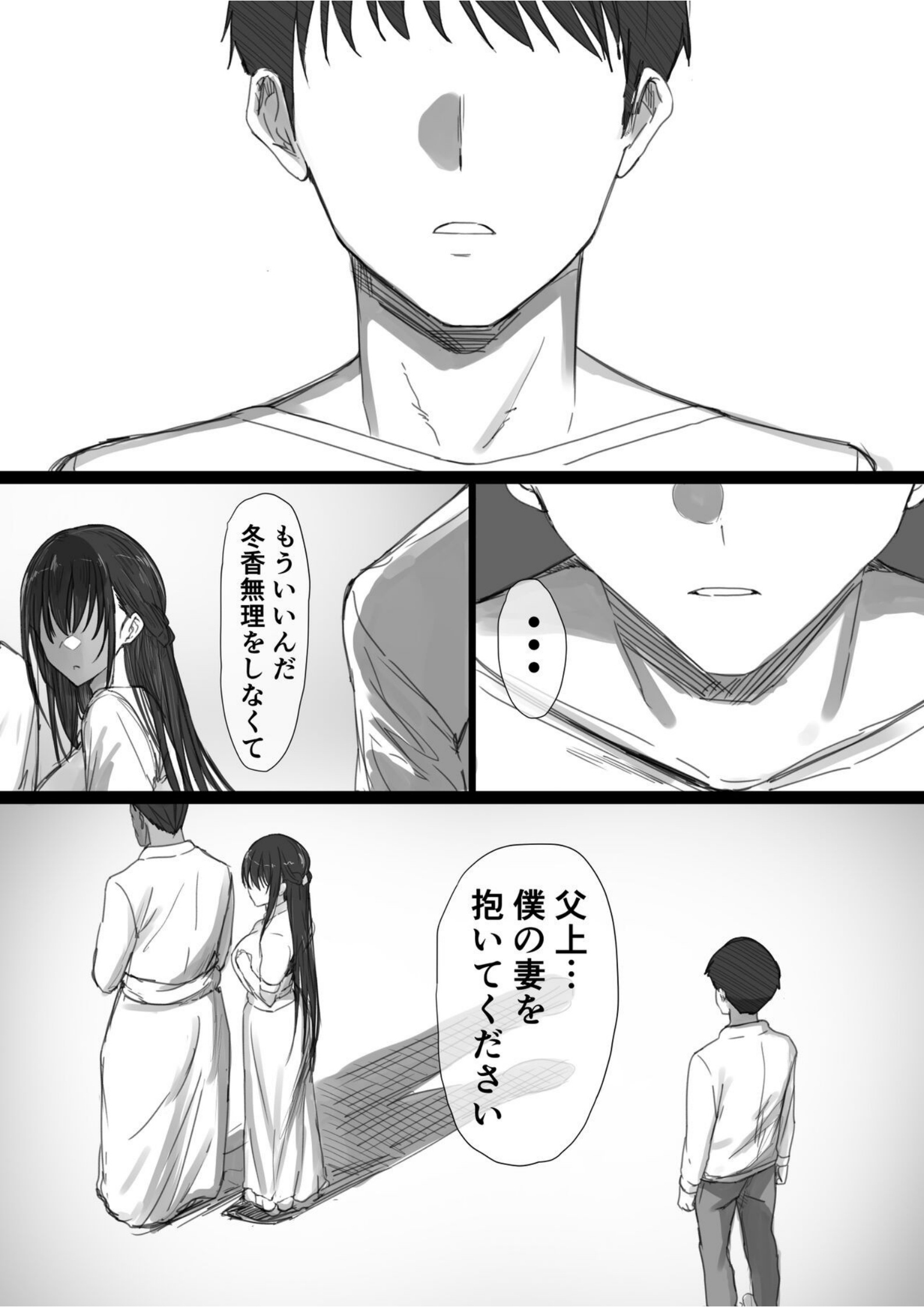





フラ
フラ
……
やはり僕では…
排卵日が
近づいている
身体の火照りが
治まらない
はぁ
はぁ
どうすれば…


では今後しばらくは
長男の元で研鑽を積んで
もらうことになるだろう
子作りに関しても
悠真には精進して
もらいたいものだが
っ…
まぁ悠真で
満たされないなら
わしが駆けつけよう
いつでも
連絡するがよい
その日を楽しみに
待っているぞ
ではな…
ッ…
ダッ


はっ
はっ
どうした？
冬香さん
ワシッ
えっ
タッ
はぁ…
はぁ
はぁ
……
お義父様…
私は…
私は…っ


もういいんだ
冬香無理をしなくて
・・・
父上…
僕の妻を
抱いてください


そして僕は
またここにいる
これで良かったんだ…
これが僕らにとっての
最良の選択


とても真面目で優しい人
初めて好きになった
方なんです
だから悠真さんを
裏切ることなんて
できません
…でも分からなく
なってしまうんです
身体はお義父様を求めてしまう


なら一度本能のままに
受け入れてみればよかろう
何を求めているか
悠真の許可も得ている
…分かりました
ドクン
ドクン


お義父様…
私は雄真さんを
愛しているんです
分かっている
ちゅっ
ちゅっ
ピクン
ジワ
ジワ


くにゅ
くにゅ
ギンッ
くにゅ
まだ何もしてないのに
恥ずかしいくらい
濡れているのう♥
じわあ～
ずっとムラムラ
していたせいか
膣内はぐちゅぐちゅ♥
くぱっ
ビクッ
いつだって
私の心を惑わして
もうしきたり
なんか関係ない
今から私は自分の意思で
お義父様に抱かれる
そう考えると今までに
ないほどの熱が
下腹部に集まるのを感じる♥
ハァ
お義父様
もう…♥
どうした？
…っ
おち…おちんぽ
挿れて下さい♥
ハァ
くちゃ
くちゃ
身体は
素直じゃな♥
ハァーッ♥
ハァーッ♥
こいつと
いっぱい絡めて
愛し合おうな♥
ツ…♥
私を満たしてくれる
魔法のちんぽ♥


ただ運命から抗い続けていた私がなぜ拒絶していたのか
このもやもやが全部なくなるまで私のことを満たしてほしい
めちゃくちゃに犯してほしい…♥
デカ尻絶景じゃ
パチュン
パン
パン
パチュ
パチュッ
パチュ
お義父様の前だと全てを忘れて一人の雌と化してしまう♥
体が求めるままに素直になりなさい♥
あぁっ♥
はっ…♥
あぁっ♥
今の姿最高にエロぞ♥
これっ♥これが欲しかった♥
子宮の奥に届いて頭ジンジンするの♥
おまんこ奥…♥
おまんこがお義父様のおちんぽの形覚えてるっ♥もっと奥まで掻き回して欲しい♥
もっと突いてっ…♥


罪悪感に苛まれながら
お尻を突き出して
犯されるのを待つ
ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ
パンッ
あっ
深いっ
はぁっ
そこに来る
強烈な背徳感が
堪らなく
気持ちいいっ
あ～まんこ
締まる～
ほらイけっ
あぁ
イク」
ビクン
ビクン
イッこクゥゥ
ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ
イってるところも
スケベで美しい
もっとイってる
所を見せなさいっ
快感でほだされて
素直になっていく…
きもちぃ～
ぴく
イってます
今イって…
ぐりぐりっ
らめぇっ
はへ
はへ
お義父様に
甘やかされて


あー出そう
ほれ口開けて
はぁ
はぁ
くちマンコに出すぞっ
しっかり味わうんじゃぞ
ッああっ
ビュルルッ
この味この匂い
ゴキュ
口の中に充満して……
よしよし全部飲んだな
んはぁ
こんなんじゃ全然満たされない
お義父様の前だとなりふり構わず下品な姿でおねだりしてしまう
はぁ
足りない…全然足りないっ
お義父様の生ちんぽで中出ししてっ
ぱぁ
意識が飛ぶぐらいぱんぱんってしてっ
くぱぁ
ビクン
グググッ
ほう


っあ～♡
生膣ヤバっ♡
ずぬぬ～♡
あっ♡
あぁっ♡
ずっと嫌いで
とっても意地悪で
全てのものを
自分のものに
しようとする
強欲な人
おおっ♡
やっぱ
これじゃ♡
ジュポ♡
生まんこ
絡みつき
気持ちいいのう♡
ハマ♡
ジュポ♡ヌチュ♡
そんな…
嫌いな人との
セックスなのにっ
気持ちよすぎて
やめられないっ♡
どうじゃ？
やはり
わしとの
子を作るか？
今そんなこと…
ずるいっ…♡
ちんぽで
キスされるたび
好きにされてしまうっ♡
ヌチュ♡
ヌチュ♡


悠真との子作り
どっちを選ぶ
わしとどっちが
気持ちいいんだ
ツ…
ほれっ
言わないと
イかせんぞっ
パン
…きもちいい
誰のがじゃ
お義父さまのっ
悠真さんより
お義父様のほうが
ちんぽおっきくて
きもちいいっ
パン
パン
パン
はあ～っエロっ
精子上がって
くるっ～～
あっ
ああっ
びゅっ
びゅるるるる～～
びゅるるるっ
おおおっ
イクっ!!
イクぅ!!
お義父様の中出し
気持ちいいっ
ビュルルル
ビュルルル
びゅくびゅく感じる
お義父様の精子…
たくさん…
はいってくるっ…
フー
フー
おおっ
活きのいい精子が
止まらん
ドクン
ドクン
ドクン


悠真さんより長いちんぽで
好きっ好きって
子宮を突かれてるみたいで
冬香さんの
発情まんこ
気持ちいいぞ
はっ
はっ
ちゅっ
ちゅっ
パン
パン
ああっ
気づいてしまった
自分の内に眠る本性に
堕落した行為に浸る気持ちよさに
気持ちも制御できず
意に反して生殖本能が
促進されて快感をもっと
求めてしまう
パン
ちゅ～っ
ビュクッ
ドクッ
ああっやばっ
また精子出るっ
ビュクッ
ドクッ
乳首吸われながら
中出しイクッ
イクッ


んちゅっ
んちゅうっ
ちゅっ
キスしゅき
すきっ すきっ
ちゃ
こんなに乱れたら
だめなのにっ
お義父様のキス
もっと欲しくなる
わしも
好きじゃよ
んちゅうっ
しゅきっ
ちろ
んぁ…イク…
またイク…
あぁあっ
お義父様ぁっ
自分で腰を振って
情けなく喘いで
ヌチ
ヌチ
んちゅっ
ちゅっ
ぎゅろろ
パン
パン
パン
パン
子宮突きからの
増長していく絶頂
これを繰り返すと
いずれ身体は本能に
基づいて反応するだろう
受け入れろっ
本気精子出すぞっ
あ
あ
あ
あ


イクっ♡
イクっ♡
んちゅっ♡ちゅっ♡
イグ〜〜〜ッ♡
ビクッ♡
ビクッ
ビクッ
きゃん♡きゃん♡
おあっっ♡
冬香さんの膣内
子供孕みたくて
仕方ないくらい
締め付けてくる♡
ぽん♡
ブピュ♡
ブピュ♡
ビュルル♡
ビュクッ♡ビクビク
!?
おおっ!?♡
さらに身体が
ほかほかじゃ♡


えろい匂いが
身体から
溢れておるぞ
いま…たまご…
排卵しちゃった
排卵きちゃいました
快楽に刺激され
優秀な遺伝子が
排出されたのだ
より優秀な雄の
遺伝子を求めて
反応したのだろう
当たり前のことだ
ぴくぴく
はぁ…
このまま中出しを続けたら
確実にわしとの子を孕ませることが
できるだろう……どうする？


冬香…
君に出逢えて
本当に良かった
初めて会った頃から
いつだって君は
僕には手が
届かない場所にいた
不意に見せる
魅きつけられるほど
儚げな姿に





でもどんなに近づこうとも
僕が彼女の心を
開くことはできない


もう止まれない…
お義父様は私の
穢れた欲求を満たしてくれる
この人と…離れるなんてこと…
ごめんね…悠真さん
私自分の本性に
気づいてしまった
どんなにお義父様に
心を開かれても
悠真さんが一番だから…
この想いだけは絶対に
失くならないから…
おねがい…
中に出して…
パン
パン
パン
パン
いいのか？
排卵したんだろう？
お義父様と
繋がったまま
イきたいから…
そのまま
中に出して…
もう忘れられない
お義父様のちんぽから…


お義父様の
精子迎えるために
今までで一番
子宮が降りてきている
あぁ
あぁ
あっ
パン
受精するまで
擦りこんでやろうっ
パン
パン
グッ
グッ
ハアッ
ハアッ
欲しい
お義父様の
精子飲みたい
ほれもっと
唇くっつけろっ
ベロチューしながら
種付けするぞっ
はいっ
んちゅ
パン
欲しいもっと欲しい
むちゃくちゃに
かき回して欲しい
グッ
グッ


ちろ」
おじさま…♥
おじさま…っ♥
んちゅう♥ぶちゅっ♥んヤばぁ♥
愛し合うのたまらなく気持ちいいっ♥やめられない…♥
浮気ちんぽで本気締め付けとは悪いマンコだ♥
んちゅ♥
んちゅ♥
ぎゃうろ」
うぁあっっスミマセンっ…♥
ダメな私のオマンコおしおきピストンくださいっ♥
ヘコ」
ヘコ」


こんなに気持ちいいものがあるなんて♥知らなかった…♥
受精したいって♥気持ちで溢れる♥
ちゃっ」
ちゃっ」
ちゃっ」
排卵したての卵子に確実に精子ブチ込んでやろう♥


あああっっ♥濃厚精子上がってきたっ♥受精準備しろっ♥
んちゅ♥
ちゅっ♥
パン♥
おあっあ♥お義父様の精子で孕みますっっ♥
パン♥
パン♥


おじさまっ
好きっ
好きっ
おじさまっ
パチュン
悠真さんが
一番好きっ
この想いだけは
変わらず本物だから…
腰振り止まらんっ
最後に中に出すぞっ
奥で受け入れろっ
れろ
んちゅっ
はいっ
れろ
パチュン
ください
ください
パチュン
出るっ出るっ!!
ズリ
ゴン
くるっ
ゴン
一番深いのキちゃう
あ…
あぁ…
あッ!!


あぁぁッ!!
ヒッ
イクッッ!!
はぁ
はっ
はっ
ビュルルル


孕めっ♡
孕めっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ズポッ
ズポッ
悠真さん…
ドクン
ドクン
ピク
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ピク
孕めぇ♡
うぁ…♡
はぁ…♡
悠真さん…


今だってこんなに
最悪な気持ちを抱かせてくれる




はーっ…
……
よっと…


ぽふっ
そして
いつだって君は
僕の心を
かき乱してくれる


僕は
君を
愛してる



◆あとがき◆

この度は当サークルの作品を購入いただき誠にありがとうございます。

前作と合わせて過去最長編の物語となりましたがいかがでしたでしょうか
意図せず次男編に続きそうな流れでもあります果たして続くんでしょうか
この先はノープランなので分かりませんが…
とりあえずはここで一区切りとして…
何れにしてもここ数年はキャパオーバー気味なので少し休んで次何するか
考えたいところであります。 引き続き感想等お待ちしております。
それではまたどこかの機会で！ はりぽてと

本作品の無断複写・複製・転載・アップロードを禁じます。
この作品は架空のものであり、実在の人物・団体とは関係ありません。